

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	田沢湖マラソン大会負担金				
担当課係名	観光課	観光係	作成者	藤岡純	
総合計画での位置づけ	施策の大綱	歴史と自然が織り成す交流拠点のまち			総合計画のページ
	基本計画	観光誘客体制の整備と観光資源の掘り起こし			
	主要施策	テンミリオン計画の推進			29
予算費目	一般会計	7款 商工費	1項 商工費	3目 観光費	
事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度	新規 / 継続の区分			
性質区分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☒ 補助金 ☐ 内部管理				
根拠法令等					
事務区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運営方法	☐ 直営 ☐ 直営(一部民間委託) ☐ 民間委託(全部) ☒ 補助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	・全国各地から来られる4千人を超えるランナーとスタッフ・観衆が一つになり心のふれあいと健康づくりを推進する。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	・健康志向の高まりからマラソンを通じた心身の健康増進を目的とし、宿泊施設及び商店の経済波及効果を図る。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	・毎年9月第三日曜日開催。昨年で22回。 フルマラソン・20km・10km・3kmペアの4種目。 19年度は4,627名のエントリー。内仙北市からは208名。完走率91%

【事務事業の推移】

(単位:千円)

	項 目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績	
効果	活動指標	大会参加者	人	4,535	4,627		
	成果指標	負担金 / 開催経費	%	36.39	34.06		
投下コスト	項 目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額	
	事業費（人件費を除く）(A)			10,000	10,000		
	財源内訳	国 庫 支 出 金					
		県 支 出 金					
		地 方 債					
		そ の 他					
		一 般 財 源		10,000	10,000		
		人 件 費 (B)		—	3,927	4,036	
	職 員 数		—	0.5	0.5		
	職 員 平 均 人 件 費		—	7,853	8,071		
	(A) + (B) 投下コスト		—	13,927	14,036		
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト (円)		—	3,071	3,033	
				—			
市民1人当たりのコスト(円)		—	437	447			

【事務事業の今までの成果】

- ・健康増進の観点からマラソンが流行し、年々参加者は増加している。田沢湖周辺の自然とスポーツを軸とした観光振興が図られている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	沿道の応援がなく寂しい所がある。 前夜祭の参加者が少ない。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
B	A	現状のまま継続（実施）	・市民応援の拡大 ・ボランティアスタッフの対応 ・協賛企業の検討
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

- ・市民マラソンの位置付けから、沿道での市民応援の増員を図るよう市民に周知する。
- ・ボランティアスタッフのかかる経費についての検討。
- ・昨今の景気低迷による協賛企業の見直し、検討、拡大。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B	参加者は増加傾向にあるが、運営に関しては、協賛企業の動向など不安定な状況が予想されるため経費削減に努め事業の推進に努めていただきたい。

一次評価診断図

